
歌詞集

あきらちゃん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

歌詞集

【Nコード】

N4802I

【作者名】

あきらちゃん

【あらすじ】

これは歌詞です。

我が子の為に必死で働く母親の無情を滲ませ、お客様とのやり取りを描き出しました。

一番)

何時、駄々こね、困らせ^{こま}る
この子、可愛いや、誰よりも
心、残して、耳に栓
急ぐ、私に、纏^{まとり}つく
御免と、詫^わびつつ、突き放す
この子の、為とは、言いながら
何時かは、解る、この気持ち
何時かは、解る、この気持ち

二番)

何時も、お店で、勤め^{はげ}ども
あの子、可愛いや、誰れよりも
心、この子の、為とは、思えども
嫌な、お客は、纏^{まと}りつく
御免と、謂^いえぬ苦しさか
この子の、為とは謂^いいながら
何時かは解るこの気持ち
何時かは、解る、この気持ち

三番

何時も、良き男^{ひと}、さよなら

気持ち、和めど、傷ついて
心、有れど、悲しくて 出来る、事なら、絡み付き
この子の、為とは謂いながら
何時かは、解る、この気持ち。
何時かは、解る、この気持ち

・説明

モデルは母親、20歳、独り身、2歳の子供抱え、夜の花。働く

《女の真心》

一番)

野を越え山越えやって来た
桜に散ったあの男の
思い出つまるこの里に
願い込めてやって来た
どうにも止まらぬこの胸は
あの日貴方の優しさは
幾年経っても忘れられぬ
女の願い真心は
悲しい恋の物語
遠うの昔に終えたのか？

(台詞)

貴方と過ごしたのは… たった1日でした。
私に花を取ってやろうとして、足を滑らせた貴方…

二番)

読んで見ました何処ですか
知覧桜に散った男
貴方が魅せたあの笑顔
私にくれた優しさは
残して在るはず真心が
詠んで映つらぬ悲しさは
あの日の貴方の哀しみは
貴方願う真心は
何処に在ります物語
愛の形の証しです

（台詞）

後れじと 散りゆく花ぞ われもまた
大和島根に
香りとどめて

野畔^{あぜ}の草

召し出されて 桜哉

野畔^{はん}の草…はん…はん…
はんの草…脚絆^{けはん}の草…（脚絆に点いた草の染みの意味）

三番）

あれこれ詠んで考えて
知覧の桜のあの男の

あの日の貴方の優しさが
心に沁みて甦る
心に溢れる嬉しさは
詠めば心に響きます
詠んで感じて分かちます
嬉しさ溢れるこの気持ち
花です花です桜です
あの男の心の証しです。

説明)

この説明が遺書の活用法です。

・世界第二次大戦末期、知覧特別特攻隊の
残された彼女達

(“ 85歳?” が形見の俳句を読み亡き男の思いを感じ取ります。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4802i/>

歌詞集

2011年1月20日03時22分発行